

# くらしのメニュー おたより 128号

令和6年11月 1日

私のひとりごと

石丸博巳

昨年妻の母が亡くなって、先日京都東本願寺へ納骨に伺いました。私自身の宗派は浄土真宗本願寺派で本山は西本願寺です。何度か伺っていますが、本堂の御影堂は何度見ても大きなものと感動しておりました。東本願寺は妻の父が亡くなった時にも伺いましたから2回目ですが、それ以上に大きくて感動いたしました。本当に大きな伽藍です。



また、本願寺派の場合は納骨が大谷本廟と言う別の場所に移動しなくては出来ませんが、東本願寺の場合は御影堂の親鸞聖人御真影の下に納骨できます。納骨の前には敷地内の地下に設けられた近代的な素晴らしい映像ホールで説教を聞くことが出来ました。

また、京都なら特別な事ではないでしょうが本当に外国人が多いですね。お寺の説教する地下のホールにまでたくさんの外国人が座っていました。そこまで来る人達は心から日本の文化に触れたいとの気持ちでしょうが、敷地内全体にもたくさんの外国人が歩いていました。どうした事がアジア人より欧州系の白人の方が多かったですね。

京都駅そばのホテルに宿泊して、夜に京都に住む孫達と食事をするため、食事場所に移動する10分程度でも、すれ違う人は外国人ばかり。“本当にここは日本なの？”と疑うほどです。実際朝食のバイキングでも、ほとんどが外国人でした。円安だから仕方がないものの、あまりに多い外国人が観光に来られるのも大変ですね。

美松様  
竜悠の間

壁の装飾  
越前和紙の  
墨流し仕上げ

竜悠の間前室

越前和紙の墨流し風景



## 今月の写真紹介

ホテル内装改修工事  
あわら温泉 美松様



### 施主様の言葉

第37期竜王戦第2局あわら対局が、去る10月19、20日に当館で行われました。改めまして関係各位の皆様には心より御礼申し上げます。

将棋界最高峰のタイトル戦である竜王戦の招致活動は2021年に始まり、紆余曲折ありながら何とか誘致の成功と対局の実施を行なうことができましたが、実は誘致決定までには対局場の設えとして様々なハードルがあり、それをクリアせねばならませんでした。

どうハードルを乗り越えていこうかを考えたときに、真っ先に思い浮かんだのが石丸さんをお願いする事でした。「石丸さんなら何とかしてくれる」

「石丸さんなら必ずふさわしい会場を作ってくれる」そんな思いで連絡をしたことを思い出します。

実際に対局が決定したの

は5月中旬のこと。そこから対局までの5か月間で全てのハードルをクリアしながら仕上げなければいけないという、素人が考えても難しい状況の中で、あの手この手を尽くして完成させて頂いた石丸ハウスセンターの皆様には感謝しかありません。対局場「竜悠の間」は今後貴賓室として大切に使用して参ります。是非この紙面をご覧の皆様も石丸ハウスセンターさんの匠の技を感じてくださいませ。ご来館お待ちしております。

北陸 福井 あわら温泉美松

取締役営業統括部長 前田 健吾様



ずっと側にいる、という安心。

株式会社 石丸ハウスセンター TEL 82-5533  
一級建築士事務所 FAX 82-5537

〒913-0044 福井県坂井市三国町山王4丁目5-15 ホームページ <http://ishimaru-housecenter.co.jp>

私の妻は“方向音痴”です

妻が、方向音痴なのは知っていました。今回、京都から大原三千院を訪ね琵琶湖西回りへ帰る予定でした。大津に行きたいというので、琵琶湖大橋から戻って再度西回りで帰りかけたら、もう自分のいる場所がわからなくなってかなりパニックしていました。